世田谷パブリックシアター
SETAGAYA PUBLIC THEATRE

## 世田谷パブリックシアター

# 2023年度学芸事業

「劇場は広場。」
開館当初から劇場が掲げてきた大きなテーマです。
劇場は、人々が出会う場所です。
出会いによって、私たちは「新たな物語の旅と、明日への夢」を思い描くことができます。
劇場は、常に人々が集い、関わり、語り合い、感じあい、触れ合う場です。
人々が真につながるための、心のよりどころでありたいと思います。
互いの違いを認め合い、他者とともに生きるための物語を紡ぐために。

世田谷パブリックシアターはそんな思いをもとに、劇場での上演にとどまらない
さまざまな学芸事業を、年間を通じて、世田谷区内のさまざまな場所で実施しています。
本リーフレットは、その普段は表にみえない活動をまとめています。
是非ご覧ください。

白井晃

世田谷パブリックシアター芸術監督

その他
レポート
掲載中

お問合わせ　公益財団法人せたがや文化財団　世田谷パブリックシアター劇場部学芸　TEL 03-5432-1526

# 2023年4月～6月学芸事業一覧

子ども …… 子どものためのプログラム　区民参加 …… 世田谷区民、その他一般参加者のためのプログラム
地域連携 …… 区内施設、NPO他と協力して実施するプログラム　専門家育成 …… レクチャーや人材育成の取組

## 4月

**5日(水)** 『デイ・イン・ザ・シアター ～26回目の劇場のお誕生日編～』
**1日限りの「演劇＆劇場」体験WS** 区民参加
14：00～17：30 だれでもデイ（進行役：とみやまあゆみ）
1997年の開場から実施しているワークショップ。毎年世田谷パブリックシアターが開場した4月5日を「劇場のお誕生日」として、特別な内容を企画している。26周年となる今年は、参加者が「劇場で働いている人」にインタビューを行い、その内容を演劇に立ち上げることで、より劇場への理解を深める機会とした。

劇場の音響スタッフ・照明スタッフ・舞台監督の3名にインタビューを行って、働いているときの気持ちや、自分の夢などについて話してもらいました。その中から参加者がより興味を惹かれたことをみんなで演劇にしていきました。
参加者からは、「普段知ることが出来ないことを知れて嬉しかった」「今からでも劇場で働いてみたい！」といった声があがり、スタッフからも「自分が体験したことがそのまま劇になっていて驚いた」との感想がよせられました。



**15日(土)** 演劇WSラボ・クラブ活動「感想クラブ」① 専門家育成

**16日(日)** 『地域の物語2023』上映会＆振り返り 13：30～17：00 区民参加
「地域の物語」は、テーマに関心を持ち集まった参加者と共に、3か月程度をかけて参加者たちの思いや発見したことを表表作品にまとめるプロジェクト。「看取り」をテーマに据えた『地域の物語2023』は、2023年3月19日にシアタートラムで「からだコース」「えんげきコース」の2作品を表表。この日は両コースの参加者たちが集まり、合同の映像上映会を実施した。終了後は鑑賞しての感想などを伝えあった。

発表会から1か月程度たっての映像上映会でしたので、両コースのメンバー共に、客観的に一観客として鑑賞することができたようでした。



**22日(土)** 演劇WSラボ「キックオフミーティング」専門家育成 レポート
「演劇WSラボ」は、2018年度より開始した演劇WSの専門家育成事業。公募で集まった研究員たち（ファシリテーター、学校教員、福祉従事者、俳優、研究者、学生等）が共同で研究・実験するクローズドのクラブ活動を行うほか、研究員同士がより交流を深め、ともに学び合うためのミーティングを設定している。今回、若干名の新たな研究員を迎え、今年度のスタートとなる「キックオフミーティング」を開催した。昨年度のクラブ活動の報告から、今年度の「演劇WSラボ」に期待すること、どんなことを学び合い、活動していきたいかについての意見交換を行った。

**23日(日)** 『子どもごちゃまぜ演劇WS 4月のごちゃまぜシアター編』子ども レポート
13：00～17：00（進行役：有吉宣人）

弱視通級指導学級の「目の教室」に、学芸会で上演する映像作品づくりのお手伝いにうかがいました。この日は下準備の日。一堂に会する機会の少ない子どもたちが互いのことをよく知り合えるよう、コミュニケーションゲームをたくさん行いました。次回からは具体的に映像作成にむけて進めていきます。

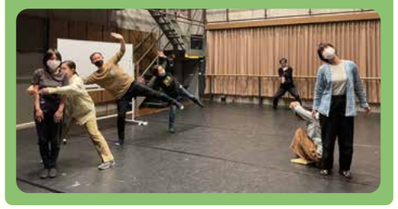
**29日(土・祝)** 『フリーステージ2022』区民参加
**30日(日)** 29日（金・祝）「世田谷クラシックバレエ連盟」
30日（土）「音楽部門」

## 5月

**5日(金・祝)** 各日「ダンス部門」
**6日(土)**
**7日(日)**

**10日(水)** 『かなりゴキゲンなWS巡回団』地域連携
（以下、『巡回団』）笹原小学校「目の教室」（進行役：富永圭一）

小学校1・2年生の教科「日本語」の活動は、劇場が行っている演劇WSで最もベーシックな活動です。今回はそれを参加者に体験してもらいつつ、単なるプログラム紹介ではなく、進行役が子どもたちをどのようにサポートするのか、どんなことに気を配り、何を大切にしているのかといった、進行する上での「肝」の部分に触れてもらう内容となりました。



**12日(金)** 演劇WSラボゼミ『学校での演劇WS体験』専門家育成
**13日(土)** 12日（金）18：00～21：00／13日（土）13：00～17：00
（進行役：すずきこーた、とみやまあゆみ）
世田谷パブリックシアターが世田谷区内小・中学校で行っている演劇WS『かなりゴキゲンなワークショップ巡回団』契約進行役による、研究員のみを対象とした、学校でのプログラムを実際に体験するゼミを開催した。今回は小学1・2年生の教科「日本語」の単元（1年生「いろいろなものになりきってみよう」、2年生「登場人物を演じてみよう」）で行っている活動内容を取り扱った。

**16日(火)** 「新小学1年生のためのスタートカリキュラム」地域連携
京西小学校1年生（進行役：すずきこーた）

**18日(木)** 下馬地区アートプロジェクト『日記と写真クラブ・極楽』地域連携
14：00～16：00（進行役：金川晋吾）

**21日(日)** 『デイ・イン・ザ・シアター ～じゆうに！コラージュ川柳編～』
**1日限りの「演劇＆劇場」体験WS** 区民参加
10：30～12：00 だれでもデイ（進行役：田崎葵）
15：00～17：00 おとなデイ（進行役：田崎葵）

小学生になったばかりのピカピカの1年生を訪問しました。まだ名前もあやふやなクラスメイトと協力して身体でものの形をつくったり、物語の一場面を表現したりと、一生懸命取り組んでいました。振り返りでは「しらない人と遊べることがわかった」「難しくて楽しかった」といった感想を伝えてくれました。

**24日(水)** 「新小学1年生のためのスタートカリキュラム」子ども
**26日(金)** 芦花小学校1年生（進行役：すずきこーた）

**27日(土)** 『子どもごちゃまぜ演劇WS 5月のスライドdeどうでショウ！編』子ども
13：00～17：00（進行役：青山公美嘉）

## 6月

**5日(月)** 『巡回団』地域連携
明正小学校1年生（進行役：大道朋奈）

**7日(水)** 『巡回団』地域連携
笹原小学校「目の教室」（進行役：富永圭一）

**8日(木)** 下馬地区アートプロジェクト『日記と写真クラブ・極楽』地域連携
14：00～16：00（進行役：金川晋吾）

**9日(金)** 『巡回団』地域連携
明正小学校1年生（進行役：大道朋奈）

**14日(水)** 「世田谷区立中学校教育研究会 教科『日本語』部会 教員研修」地域連携
14：30～16：00（進行役：とみやまあゆみ）

区立中学校の先生方にむけた教科「日本語」の研修を行いました。教科「日本語」は教育特区の認定を受け世田谷区独自に展開しているもので、中学2年生の単元「みんなでつくる演劇」の教科書執筆を劇場が担当しています。この研修では、劇場が実際に行っている授業を先生が体験し、生徒の立場になってもらうことで指導のヒントとしていただけるような内容としました。



**15日(木)** 演劇WSラボ・クラブ活動「なんちゃってフェミニズムクラブ」① 専門家育成
**18日(日)** 『子どもごちゃまぜ演劇WS 6月のおにぎり編』子ども
13：00～17：00（進行役：田崎葵）
**20日(火)** 演劇WSラボ・クラブ活動「学校が好きじゃない子のクラブ」① 専門家育成
**21日(水)** 演劇WSラボ・クラブ活動（番外編）「ゆるっとビブリオバトル」① 専門家育成
**22日(木)** 下馬地区アートプロジェクト『日記と写真クラブ・極楽』地域連携
14：00～16：00（進行役：金川晋吾）

今年度はじめての中学生演劇部。24日は自分やほかの人の日常の出来事から演劇をつくり、25日はさまざまな「光」を活かした作品づくりに取り組みました。最初は緊張のためかこわばった雰囲気でしたが、ワークを重ねるうちに打ち解け、たくさんのアイデアを活発に出し合っていました。



**23日(金)** 『デイ・イン・ザ・シアター ～唄のタイトルでえんげきしよう！編～』
**1日限りの「演劇＆劇場」体験WS** 区民参加
15：30～17：30 だれでもデイ（進行役：富永圭一）
19：00～21：00 おとなデイ（進行役：富永圭一）

**24日(土)** 演劇WSラボ・クラブ活動「グリーフケアクラブ」① 専門家育成

**24日(土)** 『世田谷パブリックシアター中学生演劇部』（1学期）子ども
年間を通じて実施している中学生対象の演劇WS。今年度は世田谷区立中学校部活動の地域移行にあわせたトライアル事業としての実施となり、世田谷区教育委員会の主催で行う。1学期、夏休み、2学期、3学期の4期間で開催するが、年間で参加する区立中学校の生徒と、単発で参加する生徒とが一緒に取り組むこととなる。
24日（土）14：00～17：00「自分のはなし、あなたのはなし」（進行役：有吉宣人）

**25日(日)** 25日（日）14：00～17：00「光を考える、光を活かす」（進行役：有吉宣人）

『ラボ生トークシリーズ』は、研究員（ラボ生）の多様な活動を紹介し、それぞれの知見を交換する場です。今回は、国内外で多様な活動をされている花崎攝さんに、イラクの大学生とのWSや、依存症を抱える人たちとのWSのお話をしていただきました。実践の困難さや可能性を感じることができた2時間でした。



**30日(金)** 演劇WSラボ・トーク『ラボ生トークシリーズ 花崎攝編』専門家育成
19：00～21：00（トーク：花崎攝）

## 5～6月 レポート

## 世田谷区立小学校6年生のための「古典芸能鑑賞教室」

5月～6月実施校数：世田谷区立小学校44校　協力：万作の会

「小学校古典芸能教室」は、世田谷区教育委員会からの受託を受けて、世田谷区立小学校6年生を対象に、毎年実施している事業です。区内63校の6年生全員が「万作の会」の狂言師による狂言を鑑賞し、ワークショップに参加します。昨年同様、演目『附子』を観劇した後、ワークショップでは、「ずか！ ずかずかずか！！」とのこびりを引いたり、「めり！ めりめりめり！」と垣根を壊したりといった所作も体験しました。今年はさらに、演目『柿山伏』の中の柿を食べる所作を体験する学校もありました。例年、6月7月に行っていましたが、今年は熱中症対策のため、前半は5月6月、後半は2024年2月の実施となります。世田谷の6年生、全員に会えるのを楽しみにしています！

### 5月～6月開催実施校

| | |
|---|---|
| 5月31日(水) | 桜丘小学校、笹原小学校、千歳台小学校、芦花小学校 |
| 6月 1日(木) | 瀬田小学校、玉川小学校、等々力小学校、二子玉川小学校 |
| 6月 2日(金) | 希望丘小学校、給田小学校、鳥山小学校、船橋小学校 |
| 6月12日(月) | 京西小学校、桜町小学校、深沢小学校、用賀小学校 |
| 6月13日(火) | 桜小学校、城山小学校、世田谷小学校、山崎小学校、若林小学校 |
| 6月14日(水) | 上北沢小学校、烏山北小学校、経堂小学校、八幡山小学校、武蔵丘小学校 |
| 6月15日(木) | 旭小学校、駒沢小学校、三軒茶屋小学校、中丸小学校 |
| 6月19日(月) | 池尻小学校、駒繋小学校、弦巻小学校、中里小学校、松丘小学校、三宿小学校 |
| 6月20日(火) | 赤堤小学校、代田小学校、松沢小学校、松原小学校 |
| 6月23日(金) | 祖師谷小学校、千歳小学校、塚戸小学校、山野小学校 |



# 2023年7月～8月学芸事業一覧

子ども …… 子どものためのプログラム　区民参加 …… 世田谷区民、その他一般参加者のためのプログラム
地域連携 …… 区内施設、NPO他と協力して実施するプログラム　専門家育成 …… レクチャーや人材育成の取組　★ …… 公演と連携しているプログラム

## 7月

**1日（土）** 『デイ・イン・ザ・シアター ～サンタのサマーバケーション編～』
**1日限りの「演劇＆劇場」体験ワークショップ** 区民参加
10：30～12：30 はじめての人だけデイ／15：00～17：00 だれでもデイ（進行役：大道朋奈）

**5日（水）** 『かなりゴキゲンなワークショップ巡回団』（以下、『巡回団』）笹原小学校「目の教室」 地域連携
（進行役：富永圭一）

**8日（土）** 下馬地区アートプロジェクト『極楽フェス2023』 地域連携

**12日（水）** 『巡回団』深沢中学校（進行役：すずきこーた、とみやまあゆみ） 地域連携

**13日（木）**

**15日（土）** 演劇WSラボ・クラブ活動番外編
「100分de名著『ディスタンクシオン』を見てやってみるクラブ」① 専門家育成

**16日（日）** 演劇WSラボ・クラブ活動「学校が好きじゃない子のクラブ」② 専門家育成

**17日（月・祝）** 『巡回団』笹原小学校「目の教室」（進行役：富永圭一） 地域連携

**17日（月・祝）** 演劇WSラボ・クラブ活動「グリーフケアクラブ」② 専門家育成

**22日（土）** 『子どもごちゃまぜ演劇ワークショップ 7月のユウレイだって色々あるさ編』 子ども
13：00～17：00（進行役：南波圭）

**24日（月）** 『小学生のためのエンゲキワークショップ』Aコース（小学1・2年生） 子ども

**25日（火）**
**26日（水）**
10：30～12：30『ピンチをたのしもう！』（進行役：富永圭一）
子どもたちの夏休み期間に合わせ、小学生（低学年、中学年、高学年）、中学生、高校生にむけた3日間連続の演劇WSを全13コース開催した。2020年のコロナ渦以来中止していた発表会も実施し、参加者の子どもたちが台本のないところからアイデアを出し合って作り上げた作品を、参加者の保護者や劇場関係者ら多くの観客の前で発表した。

せたがやこどもプロジェクト2023 ワークショップ編 開始！！

**25日（火）** 『世田谷パブリックシアター ダンス食堂 メニュー23 伊藤キム』 区民参加 ★
19：00～20：30 トーク（講師：伊藤キム）

**25日（火）** 太子堂ワークショップ2023『みんなで演劇』 地域連携
**26日（水）** 25日（火）14：00～16：30／26日（水）10：00～12：30（進行役：有吉宣人）

**26日（水）** ラルンベ・ダンサ『エアー～不思議な空の旅～』
**関連ワークショップ『こどもダンスワークショップ』** 子ども ★
11：00～12：15 おやこコース／14：00～15：15 おこさまコース（講師：ラルンベ・ダンサ）

**27日（木）** 『小学生のためのエンゲキワークショップ』Bコース（小学1・2年生） 子ども
**28日（金）** 10：30～12：30『サンタさんも、なつやすみ！』（進行役：大道朋奈）
**29日（土）**

**27日（木）** 『小学生のためのエンゲキワークショップ』Gコース（小学3・4年生） 子ども
**28日（金）** 14：30～16：30『いろんな色の夏物語』（進行役：とみやまあゆみ）
**29日（土）**

**29日（土）** アミューズ×世田谷パブリックシアターミュージカル『カラフル』
**関連ワークショップ『「ミュージカルナンバー」を歌ってみよう！』** 子ども ★
16：00～17：30（講師：林アキラ）

**29日（土）** 演劇WSラボ・クラブ活動「いまさらフェミニズムクラブ」② 専門家育成

**29日（土）** 『世田谷パブリックシアター ダンス食堂 メニュー23 伊藤キム』 区民参加 ★
19：00～21：00 WS（進行役：伊藤キム）

**31日（火）** 「世田谷区中学校教育研究会 演劇教育研究部 合同演劇講習会」 地域連携
9：30～17：30（進行役：有吉宣人、とみやまあゆみ）
「世田谷区中学校教育研究会演劇教育研究部」主催で行われる、世田谷区立の中学生合同の演劇講習会。中学生たちがさまざまな創作や表現方法に触れ、探求することを通じて人に伝える力を養うとともに、区内の中学生同士が交流し、表現活動への意欲を高め合うことを目的に実施された。

**31日（火）** ラルンベ・ダンサ『エアー～不思議な空の旅～』
**関連ワークショップ『パフォーマンスワークショップ』** 区民参加 ★
19：00～21：00（講師：ラルンベ・ダンサ）

**31日（月）** 『世田谷パブリックシアター中学生演劇部』（夏休み） 子ども
10：30～16：00（進行役：大道朋奈）

## 8月

**1日（火）**
**2日（水）**

**3日（木）** 『小学生のためのエンゲキワークショップ』Kコース（小学1～6年生） 子ども
**4日（金）** 10：30～15：30『なんで？探しの旅にいこう！』（進行役：とみやまあゆみ）
**5日（土）**

**7日（月）** 『小学生のためのエンゲキワークショップ』Cコース（小学1・2年生） 子ども
**8日（火）** 10：30～12：30『世界平和スパイ 世田谷パブリックシアター支部』（進行役：田崎葵）
**9日（水）**

**10日（木）** 『小学生のためのエンゲキワークショップ』Dコース（小学1・2年生） 子ども
**11日（金）** 10：30～12：30『トレジャーハンティング!!』（進行役：青山公美嘉）
**12日（土）**

「日常で起こった大ピンチ」の経験をみんなで出し合い、演劇をつくりました。子どもたちは、最終日の発表会にむけて、どうすれば見ている人に伝わるかを考え、ぎりぎりまで繰り返し練習していました！



レポート

「サンタさんの夏の１日」をテーマに、サンタさんが起きてから寝るまでどんなことをしているかをみんなで考え、演劇をつくっていきました。ビニール袋を使って役にあわせた衣裳づくりも行いました！

カラフルな布から発想して演劇をつくりました。その色からどんなキャラクターを作り出すか、布をどうまとうか、イメージを膨らませて、奇想天外な物語を創り上げました。



コロナ渦での中止を経て、4年ぶりの開催となりました。約50名の演劇部員たちが集まり、演劇づけとなる1日です。テーマは「自分らしく生きるとは？」。この難題なテーマに最初は戸惑っていた部員たちでしたが、少しずつ対話や思考を重ねて演劇に立ち上げていきました。

日頃「なんで？」と感じていることを出し合い、その疑問を表現する劇をつくりました。また別のグループがその答えを想像して演劇をつくり、「なんで人は死ぬの？」「星はどうして光るの？」「なんでケガは治るの？」といった問いへのユニークなアンサー演劇が生まれていました。



テーマは「スパイ」。ある人物から「世界平和のために、奪われた特別な道具を探し出してほしい」という依頼を受け、さまざまな困難を乗り越えて探しだす劇をつくりました！

「船が沈没し、無人島に流れついた」参加者の子どもたち。そこにある「モノ」と「隠された宝」を想像し、段ボールや布で工作して、大ピンチに陥りつつも、宝を探し出す大冒険の演劇をつくりました。

**10日（木）** 『小学生のためのエンゲキワークショップ』Hコース（小学3・4年生） 子ども
**11日（金）** 14：30～16：30『みんなをまきこむ！？ごちゃまぜシアター』（進行役：有吉宣人）
**12日（土）**

**12日（土）** 演劇WSラボ・クラブ活動「学校が好きじゃない子のクラブ」③ 専門家育成

**13日（日）** 『メルセデス・アイス MERCEDES ICE』
**関連WS「夏の劇場・りんかん学校」**
**―『メルセデス・アイス MERCEDES ICE』の世界を体験しよう！―** 子ども ★
「りんかん学校」今年も開催!!
16：30～18：30（進行役：白井晃）
昨夏、好評だった白井晃芸術監督による「りんかん学校」を今年も開催。この企画は、林間学校で自然を感じるように、本番同様の舞台を感じて、新たな世界に出会い心を動かす体験をしてほしいという監督の願いが込められている。今回は公募で集まった16人の子どもたちが、本作演出の白井晃と一緒に、実際の舞台美術の中で『メルセデス・アイス』の一場面を体験するワークショップが行った。




**14日（月）** 『中学生のためのエンゲキワークショップ』 子ども
**15日（火）** 13：00～16：00『劇場で激情ラップ』（進行役：柏木陽、FUNI）
**16日（水）**

**17日（木）** 『小学生のためのエンゲキワークショップ』Eコース（小学1・2年生） 子ども
**18日（金）** 10：30～12：30『サンタさんも、なつやすみ！』（進行役：有吉宣人、大道朋奈）
**19日（土）**

**17日（木）** 『小学生のためのエンゲキワークショップ』Iコース（小学3・4年生） 子ども
**18日（金）** 14：30～16：30『世界平和スパイ 世田谷パブリックシアター支部』（進行役：田崎葵）
**20日（日）**

**21日（月）** 『世田谷パブリックシアター劇場ツアー』 区民参加
13：30～15：00／16：30～18：00
劇場をより身近な存在として感じていただくため、芸術監督の白井晃がナビゲートする劇場ツアーを開催。舞台や楽屋、搬入口をご案内しながら、これまでの公演の小道具や衣裳なども紹介した。

**21日（月）** 『高校生のためのエンゲキワークショップ』 子ども
**22日（火）** 10：30～16：00『演劇でつくるあなたの物語』（進行役：柏木陽）
**23日（水）**

**22日（火）** 世田谷パブリックシアター×玉川地域社協事務所共催企画
**「劇団新風」** 地域連携
9：00～12：00 WS／13：30～16：30 サロン見学（進行役：すずきこーた）

**24日（木）** 「令和5年度 夏季教育課題研修―演劇的手法の活用研修―」 地域連携
13：30～16：30（進行役:すずきこーた、とみやまあゆみ）
世田谷区教育委員会が行う夏季教員研修を担当。講師は当劇場契約ファシリテーターが勤め、「学芸会の指導」を課題に具体的な手法を紹介した。

**24日（木）** 『小学生のためのエンゲキワークショップ』Jコース（小学5・6年生） 子ども
**25日（金）** 10：30～12：30『銀河ステーションに出発！』（進行役：青山公美嘉）
**26日（土）**

**24日（木）** 『Technical Theatre Training Program 2023
**25日（金）** **舞台技術講座48th』** 専門家育成
**26日（土）** 24日（木）13：00～18：00 **舞台音響入門講座**（講師：小笠原康雅）
**27日（日）** 25日（金）13：00～18：00 **舞台照明入門講座**（講師：柘植幸久）
26日（土）13：00～17：00／27日（日）10：00～17：00 **舞台技術安全講座**（講師：熊谷明人）

**25日（金）** 世田谷パブリックシアター×玉川地域社協事務所共催企画「劇団新風」 地域連携
9：00～12：00 WS（進行役：すずきこーた）

**26日（土）** 演劇WSラボ・クラブ活動「感想クラブ」② 専門家育成

**27日（日）** 『世田谷パブリックシアター中学生演劇部』（2学期）1/16回目 子ども
13：30～17：00（進行役：大道朋奈）
年間を通じて実施している中学生対象のWS。演劇部のない学校の中学生たちに、演劇活動の機会を提供している。この2学期は世田谷区立中学校演劇部が出場する「世田谷区立中学校演劇発表会」（10月28日・29日開催）での上演にむけて実施する。

**28日（月）** 『小学生のためのエンゲキワークショップ』Fコース（小学1・2年生） 子ども
**29日（火）** 10：30～12：30『インタビューからエンゲキ』（進行役：すずきこーた）
**30日（水）**

**29日（火）** 演劇WSラボ・クラブ活動「グリーフケアクラブ」③ 専門家育成

**31日（木）** 『デイ・イン・ザ・シアター ～かってに世界遺産！編～』 区民参加
**1日限りの「演劇＆劇場」体験ワークショップ**
14：00～16：00／18：00～20：00 だれでもデイ（進行役：大西由紀子）

観客を巻き込む参加型演劇に挑戦！ 自分がやりたい役を決め、グループで一つの物語を創作し、お客様にどう参加してもらえるかを考えました。発表会では、道を教えてもらったり、飛行機に一緒に乗ってもらったりと、いろいろな形でお客様に参加してもらいました！

本番の舞台で使うセットや小道具を使って、「俳優」を経験してもらいました！最初は緊張していた子どもたちも、舞台でセリフを大声で読んだり、作品に使われた「影のタワー」や「家」「蜘蛛」を動かしているうちに、みんな夢中になって作品の世界に入っていきました。



普段は自分の中だけにおさめているけれど、この場に集まった仲間には伝えてみたいと思ったことを言葉にして、リズムにのせ、ラップをつくりました。さまざまな想いが飛び交う大ラップ大会になりました。

「８月31日のサンタさん」を演劇にしました。子どもたちがよい子にしているか確認して回ったり、プレゼントをきちんと配るために漢字のお勉強をしたり、海に潜っておもちゃを探したり。夏のサンタさんもトナカイも大忙しでした。

訓練をして「スパイ」となった子どもたち。宝を取り戻してほしいという依頼を受け、さまざまな罠をくぐり抜けて宝を探し出す劇をつくりました。スリル満点の劇に、発表会では客席から何度も歓声があがっていました。

「普段言えないこと」をテーマに参加者同士インタビューしあい、相手の語った話を書き起こす「聞き書き」に取り組んで、シーンを立ち上げていきました。参加者一人ひとりの想いが現れた力強い作品となりました。



宮沢賢治の未完の作『銀河鉄道の夜』のオリジナル作品をつくりました。作品の内容を知り、自分が考える結末や感じたことを共有した後、物語を 20 シーンに分け、グループで演劇づくりを行いました。短い時間で、歌やダンスも交えた超大作が出来上がりました。

ネパール出身のゲストを招き、ネパールを旅する演劇を創作しました。子どもたちはたくさんゲストに質問し、印象に残ったお話から演劇を立ち上げていきました。現地の歌やダンスも交えた素敵な作品が完成しました。

# 2023年9月～10月学芸事業一覧

子ども …… 子どものためのプログラム　区民参加 …… 世田谷区民、その他一般参加者のためのプログラム
地域連携 …… 区内施設、NPO他と協力して実施するプログラム　専門家育成 …… レクチャーや人材育成の取組　★ …… 公演と連携しているプログラム

## 9月

**1日（金）** 山海塾『TOTEM 真空と高み』関連企画 特別上映会 区民参加 ★
15：00 上映作品『海の賑わい 陸（オカ）の静寂―めぐり』

**3日（日）** 『世田谷パブリックシアター中学生演劇部』（2学期）2/16回目 子ども
13：30～17：00（進行役：大道朋奈）

**5日（火）** 『かなりゴキゲンなワークショップ巡回団』（以下、『巡回団』）弦巻小学校1年生（～9月29日／全12回）（進行役：とみやまあゆみ） 地域連携

**5日（火）** 世田谷パブリックシアター×玉川地域社会福祉協議会事務所 共催企画「劇団新風」3/7回目 13：00～17：00（進行役：すずきこーた） 地域連携

**8日（金）** 『巡回団』二子玉川小学校1年生（～9月12日／全3回）（進行役：田崎葵） 地域連携

**9日（土）**
**10日（日）** 『世田谷パブリックシアター中学生演劇部』（2学期）3・4/16回目 子ども
13：30～17：00（進行役：大道朋奈）

**11日（月）** 世田谷パブリックシアター×玉川地域社会福祉協議会事務所 共催企画「劇団新風」4/7回目 13：00～17：00（進行役：すずきこーた） 地域連携

**12日（火）** 世田谷アートタウン2023関連企画『目指せ！ インクルーシブ大道芸プロジェクト その① オンライントーク』20：00～21：30 区民参加
（スピーカー：金井ケイスケ、東野寛子、吉田亜希、上ノ空はなび、ファシリテーター：栗栖 良依）
誰もがボーダーレスに楽しむことができる大道芸フェスティバルや劇場公演を目指した「インクルーシブ大道芸プロジェクト」の第一弾として、日本や世界で行われている取り組みを共有するためのオンライントークを開催。
日本における「ソーシャルサーカス」のパイオニアである SLOW CIRCUS の皆さんを中心に、『三茶 de 大道芸』や世田谷パブリックシアターに馴染みのある方々と、インクルーシブ＆ソーシャルな活動の事例についてトークを繰り広げました。

栗栖良依さんをファシリテーターに迎え、スピーカーの東野寛子さんからは障害を持った方を中心に誰でも参加できる SLOW CIRCUS の活動について、吉田亜希さんからは子ども、高齢者、引きこもりなどを対象とした「瀬戸内みんなのサーカス」について、to R mansion の上ノ空はなびさんからは、エチオピアの貧困地域で非行防止や職業訓練として行われているソーシャルサーカス学校の事例を、金井ケイスケさんからは、松本でご自身が行われている活動やフランスやギアナの事例についてご紹介いただきました。

**15日（金）** 『ともにゃの部屋～黒田真史さん』九品仏小学校4年生 その他
＊文化庁ユニバーサル公演事業

**17日（日）**
**18日（月・祝）** 『世田谷パブリックシアター中学生演劇部』（2学期）5・6/16回目 子ども
13：30～17：00（進行役：大道朋奈）

**19日（火）** 世田谷パブリックシアター×玉川地域社会福祉協議会事務所 共催企画「劇団新風」5/7回目 13：00～17：00（進行役：すずきこーた） 地域連携

**21日（木）** 『巡回団』給田小学校2年生（～10月10日／全10回）（進行役：すずきこーた） 地域連携

**22日（金）** 『デイ・イン・ザ・シアター ～夏のまとめ！編～』1日限りの「演劇＆劇場」体験WS 区民参加
15：30～17：30／19：00～21：00 だれでもデイ（進行役：とみやまあゆみ）

「夏のまとめ」をテーマに、参加者同士で「今年の夏」「理想の夏」「いつかの夏」の夏の出来事を話し合って劇を作りました。グループごとに聞きあった一人ひとりの夏の話をシーンにして発表し、参加者からは「もう一度、夏を体験した気持ちになった」「色んな夏の思い出がアルバムみたいに見られて楽しかった」という声があがりました。



**23日（土）** 『子どもごちゃまぜ演劇ワークショップ 9月の秋の一日宇宙への旅 編』 子ども
13：00～17：00（進行役：富永圭一）

「宇宙旅行ができるなら、どんな星に行きたいか」を話し合って演劇をつくりました。お菓子の木があって小人や巨人が住んでいる星や、サーモンやお金が成る木がある星など、バリエーション豊かな楽しい星々の劇が出来上がりました。



**23日（土）** 演劇WSラボ・クラブ活動「グリーフケアクラブ」④ 専門家育成

**23日（土）** 演劇WSラボ・クラブ活動番外編『『ディスタンクシオン』クラブ」② 専門家育成

**24日（日）** 世田谷パブリックシアター×玉川地域社会福祉協議会事務所 共催企画「劇団新風」6/7回目 13：00～17：00（進行役：すずきこーた） 地域連携

**25日（月）** 世田谷パブリックシアター×玉川地域社会福祉協議会事務所 共催企画「劇団新風」公演 7/7回目 地域連携
10：00～11：30 奥沢まちづくりセンター
14：00～15：30 上野毛地区会館（進行役：すずきこーた）
社会福祉協議会（社協）が実施している事業「あんしん事業」「私のノート」「ふれあい・いきいきサロン」を周知すべく、世田谷パブリックシアターと社協とで実施する企画。高齢者の利用が想定されている3つの事業について、集まった大学生が利用者や社協職員の方々にインタビューを実施し、自ら学びながら演劇を創作。玉川地域の市民センター2か所で上演し、多くの高齢者が鑑賞した。

チラシを見て興味をもってくださった地域住民の方に加え、民生委員や生活支援員の方など、午前午後あわせて 50 名程度の方が見に来てくれました。上演の中で、観客と大学生とが交流する時間もあり、「大学生や他の人と話す時間がよかった」「事業についてよくわかった」など、多くの感想があがりました。



**27日（水）** 『ともにゃの部屋～黒田真史さん』桜丘中学校1年生 地域連携
＊文化庁ユニバーサル公演事業

**27日（水）** 演劇WSラボ・クラブ活動「学校が好きじゃない子のクラブ」② 地域連携

**28日（木）** 『巡回団』ほっとスクール「城山」 地域連携 レポート
（～2月26日／全3回）（進行役：大道朋奈）

**28日（木）** 『巡回団』烏山北小学校6年生（全1回）（進行役：柏木陽） 地域連携

**29日（金）** 『ともにゃの部屋～黒田真史さん』桜丘中学校1年生 その他
＊文化庁ユニバーサル公演事業

## 10月

**30日（土）**
**1日（日）** 『世田谷パブリックシアター中学生演劇部』（2学期）7・8/16回目 子ども
13：30～17：00（進行役：大道朋奈）

**2日（月）** 『ともにゃの部屋～黒田真史さん』桜丘中学校1年生 地域連携
＊文化庁ユニバーサル公演事業

**4日（水）** 「世田谷区立小学校教育研究会児童文化部 実技研修」 地域連携
13：45～16：30 学芸会・学習発表会の指導について（進行役：すずきこーた）

区立小学校の先生方に、学芸会・学習発表会指導の研修を行いました。はじめに、1クラスの児童たちに実際の学芸会指導を行い、その様子を先生方に見てもらいました。その後、質疑応答を経て、先生方に様々なワークを体験してもらい、劇場が学芸会支援を行うときにあたっての手法や考え方等をご紹介しました。

**7日（土）**
**8日（日）** 『うけいれる身体・うけいれられない身体』 その他
穂の国とよはし芸術劇場PLAT
（進行・構成：柏木陽／出演：柏木陽、山本雅幸、有吉宣人、大塚由祈子、石田迪子）
7日（土）14：30 公演
8日（日）13：00～16：00『聞き書き体験ワークショップ』
2020年3月にシアタートラムで上演した作品「うけいれる身体・うけいれられない身体」を、穂の国とよはし芸術劇場（愛知）で再演。東京に住む60歳を超えた4名の重度脳性麻痺の方への取材から俳優たちが創り上げた作品は、市井の方々の声を表現にまとめるメディアとしての演劇の可能性を指し示すこととなった。
上演後は、ディスカッションの時間を設け、また翌日には豊橋市在住の3名の脳性麻痺の方へのインタビューからシーンを創るワークショップも実施した。

公演翌日のワークショップでは、作品創作で活用した「聞き書き」という手法を体験してもらう内容でした。ご協力くださった脳性麻痺の方には、普段は言葉にしない気持ちを言葉にしてくださった方もいて、たまたま付き添いでいらしていたご家族の方は、ご覧になって「普段こんなことは言わないから…」と涙ぐんでおられました。



**7日（土）** 世田谷アートタウン2023関連企画
『目指せ！ インクルーシブ大道芸プロジェクト その② インクルーシブ講習会＆ソーシャルサーカス・ワークショップ』 区民参加
（講師：金井ケイスケ、吉田亜希）

パフォーマーやワークショップのファシリテーターなどを対象とした「インクルーシブ講習会」と、障害の有無にかかわらず参加できる「ソーシャルサーカス・ワークショップ」を開催。エアリアル・ティシューや筒けんなどサーカスの道具やテクニックを用い、参加者同士でコミュニケーションを取りながら、ゲームを楽しみました。



**9日（月・祝）** 『世田谷パブリックシアター中学生演劇部』（2学期）9/16回目 子ども
13：30～17：00（進行役：大道朋奈）

**13日（金）** 『巡回団』代田小学校2年生（～10月17日／全4回）（進行役：柏木陽） 地域連携

**14日（土）** 『世田谷パブリックシアター中学生演劇部』（2学期）10/16回目 子ども
13：00～17：00（進行役：大道朋奈）

**14日（土）** 演劇WSラボ・クラブ活動番外編『『ディスタンクシオン』クラブ」③ 専門家育成

**15日（日）** 『世田谷パブリックシアター中学生演劇部』（2学期）11/16回目 子ども
13：00～17：00（進行役：大道朋奈）

**16日（月）** 『ともにゃの部屋～黒田真史さん』祖師谷小学校4年生 その他
＊文化庁ユニバーサル公演事業

**16日（月）** 演劇WSラボ・クラブ活動「学校が好きじゃない子のクラブ」③ 専門家育成

**18日（水）** 『巡回団』旭小学校1年生（～10月25日／全3回）（進行役：青山公美嘉） 地域連携

**19日（木）** 『巡回団』旭小学校2年生（～10月27日／全6回）（進行役：とみやまあゆみ） 地域連携

**19日（木）** 『巡回団』上北沢小学校2年生（～11月22日／全8回）（進行役：すずきこーた） 地域連携

**21日（土）**
**22日（日）** 世田谷アートタウン2023『三茶de大道芸』 区民参加
「三茶の街を劇場にしよう！」と、街の活性化と文化芸術の発信のために、地元の商店街と世田谷パブリックシアターを含む世田谷文化生活情報センターが一体となり 1997 年より始まった大道芸フェスティバル。
街中で行われるパフォーマンスのほか、各商店街による模擬店や物産展、ゲームコーナー、占いコーナー、ボランティアスタッフによる装飾、手作りアート小物が並ぶ『アート楽市』などが開催されます。

コロナ禍を経て 4 年ぶりの通常開催となった今年は、2日間とも晴天に恵まれ、街中が多くの来場者でにぎわいました。商店街や広場など 13 会場で 30 組を超えるアーティストによる大道芸が行われたほか、模擬店なども完全復活。世田谷パブリックシアターでは、ソーシャルサーカス体験コーナーや『フィアース 5』の公開リハーサルも。



**21日（土）**
**22日（日）** 『世田谷パブリックシアター中学生演劇部』12・13/16回目 地域連携
13：00～17：00（進行役：大道朋奈）

**22日（日）** 演劇WSラボ・クラブ活動「グリーフケアクラブ」⑤ 子ども

**23日（月）** 『巡回団』京西小学校2年生（～11月1日／全6回）（進行役：とみやまあゆみ） 地域連携

**24日（火）** 『巡回団』祖師谷小学校2年生（～10月31日／全6回）（進行役：大道朋奈） 地域連携

**24日（火）** 演劇WSラボ『ラボ生トークシリーズ 酒井一途編』 専門家育成
18：30～21：00（話し手：酒井一途）
演劇WSラボの研究員（ラボ生）に、自身の活動について語ってもらうトークシリーズ。研究員同士が互いの活動を共有し、それぞれの知見を交換して研鑽を深める場で、研究員のみに限った会として実施している。
今回はスピーカーに酒井一途さんを招き、「演劇（ワークショップ）は自分にとって何なのか？」という問いのもと、大学時代の演劇との出会い、その後どのような影響を受け、考え、生きてきたのかを語ってもらった。

人と人とを引き合わせる場づくりに取り組まれている酒井さんが、これまでどのように演劇（ワークショップ）と向きあい、自分の活動を展開させてきたのか、独特なペースで語られました。参加者もその酒井さんのペースにのり、自分の言葉とじっくりと丁寧に向き合いながらディスカッションしていたのがとても印象的でした。



**25日（水）** 『ともにゃの部屋～黒田真史さん』新宿落合第6小学校3年生 その他
＊文化庁ユニバーサル公演事業

**25日（水）** 『巡回団』千歳小学校1年生（～10月27日／全5回）（進行役：すずきこーた） 地域連携

**28日（土）**
**29日（日）** 「世田谷区立中学校演劇発表会」（区大会）技術支援 子ども レポート

**28日（土）**
**29日（日）** 『世田谷パブリックシアター中学生演劇部』（2学期）区大会本番 14・15/16回目 子ども
29日（日）10：40 上演『ミュージカル 桃二郎』（進行役：大道朋奈）

夏の終わりから取り組んできた『ミュージカル　桃二郎』。暴力を使わずに、どうしたら鬼と人間が共存していけるのか、みんなで考えながら作りました。開演ぎりぎりまで、台詞を確認したり、劇中の歌やダンスの練習を繰り返していた中学生たち。緊張していた様子でしたが堂々とした姿で最後まで演じきり、晴れ晴れとした表情が見えました。



**30日（月）** 『デイ・イン・ザ・シアター ～はじめましての演劇づくり編～』1日限りの「演劇＆劇場」体験ワークショップ 区民参加
15：30～17：30 だれでもデイ／19：00～21：00 はじめましての人だけデイ（進行役：柏木陽）

# 2023年11月～24年1月学芸事業一覧

子ども …… 子どものためのプログラム　区民参加 …… 世田谷区民、その他一般参加者のためのプログラム
地域連携 …… 区内施設、NPO他と協力して実施するプログラム　専門家育成 …… レクチャーや人材育成の取組　★ …… 公演と連携しているプログラム

## 11月

**1日（水）**『かなりゴキゲンなワークショップ巡回団』（以下、『巡回団』）京西小学校2年生 地域連携
（10月23日～11月1日／全6回）（進行役：とみやまあゆみ）

**1日（水）**『フィアース5』関連企画
**2日（木）**ラファエル・ボワテル エアリアルワークショップ 区民参加 ★
11月1日（水）13：00～18：00 ワークショップA【マスタークラス／プロ向け】
11月2日（木）19：00～21：00 ワークショップB【ダンス、パフォーマンス経験者向け／プロ・アマ問わず】
10月に上演した『フィアース5』の演出家で、自身のサーカスカンパニー「ルーブリエ」の全作品の演出・振付を手掛け、自身もパフォーマーとして数々の作品に出演してきたラファエル・ボワテルによるエアリアルワークショップ。プロ向けの【マスタークラス】と、プロ・アマを問わない【ダンス・パフォーマンス経験者向け】の2プログラムを開催。空中テクニックのほか、即興、グループワーク、フロアワークを通して、 それぞれの身体に眠る新しい言語を引き出していった。

前半はエクササイズと、フィジカルを中心とした動きに演劇的要素も加えたグループワークを中心に。後半は、『フィアース 5』にも登場したハーネスをつけて、ロープに吊られた状態でのパフォーマンス。そして『フィアース 5』出演者のアシスタントのもと、エアリアル・リングやティシューのテクニックも体験しました。



**2日（木）**『巡回団』旭小学校2年生（10月20日～11月2日／全6回）（進行役：とみやまあゆみ）地域連携
**3日（金）**演劇WSラボ・クラブ活動「グリーフケアクラブ」⑥ 専門家育成
**6日（月）**『巡回団』上北沢小学校2年生（10月19日～11月22日／全8回）（進行役：すずきこーた）地域連携
**9日（木）**演劇WSラボ『演劇ワークショップの継続的な活動と可能性を思考する「実践記録」作成ゼミ』1/3回目 専門家育成 レポート
18：30～21：00（講師：渡辺貴裕）
演劇WSラボの研究員を対象としたゼミ。実践の現場で起こったことを振り返ったり、考えたこと感じたことを言語化したりと、演劇WSの実践者が継続的かつ発展的に自らの活動を進めていくための「実践記録」を書くことを試みた。

コーヒーが飲まれるようになった由来が書かれた絵本『エチオピアコーヒー伝説』を読んで、みんなで演劇をつくっていきました。絵本の内容を劇にしたあと、コーヒーにちなんだ音楽にのせてダンスも踊り、一本の「コーヒー」にまつわる劇が完成しました。

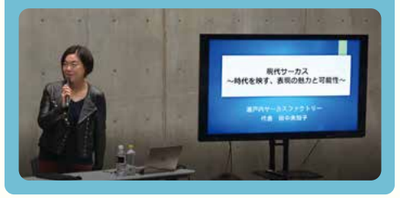


**10日（金）**『デイ・イン・ザ・シアター ～ヤギと少年のコーヒー伝説編～』
1日限りの「演劇＆劇場」体験ワークショップ 区民参加
15：30～17：30 だれでもデイ／19：00～21：00 おとなデイ（進行役：大道朋奈）
**11日（土）**演劇WSラボ・クラブ活動番外編「『ディスタンクシオン』クラブ」③ 専門家育成
**12日（日）**『世田谷パブリックシアター中学生演劇部』（2学期）16/16回目 子ども
13：30～15：30（進行役：大道朋奈）
**16日（木）**『巡回団』千歳台小学校2年生（～11月30日／全6回）（進行役：富永圭一）地域連携
**18日（土）**演劇WSラボ・クラブ活動「学校が好きじゃない子のクラブ」⑤ 専門家育成
**19日（日）**『子どもごちゃまぜ演劇ワークショップ 11月のいろんな場面であそんじゃおう！編』子ども
13：00～17：00（進行役：青山公美嘉）

初めての宿泊を伴うツアー公演のため、特急電車を乗り継ぎ約半日かけて辿り着いた福井。障害当事者の黒田さんにとって長旅は大変体に負担のかかることでしたが、子どもたちの積極的な声かけと楽しそうな笑顔に、旅の疲れはどこかへ吹き飛んでしまったようでした。黒田さんに寄り添いながらコミュニケーションを取る子どもたちの姿がとても印象的でした。

**22日（水）**『ともにゃの部屋～黒田真史さん』福井市春山小学校４年生 その他
＊文化庁ユニバーサル公演事業
**23日（木）**『子どもごちゃまぜ演劇ワークショップ パンはどこからやってきた？編』子ども
13：00～17：00　進行役：すずきこーた
**27日（月）**『巡回団』ほっとスクール「城山」（9月28日～2月26日／全3回）（進行役：大道朋奈）地域連携
**29日（水）**『巡回団』烏山北小学校「きこえとことばの教室」（全1回）地域連携
（進行役：すずきこーた）
**29日（水）**『ともにゃの部屋～黒田真史さん』赤堤小学校4年生 ＊文化庁ユニバーサル公演事業 その他
**30日（木）**演劇WSラボ『演劇ワークショップの継続的な活動と可能性を思考する「実践記録」作成ゼミ』2/3回目 専門家育成
18：30～21：00（講師：渡辺貴裕）

日本における現代サーカスの第一人者である瀬戸内サーカスファクトリーの田中未知子さんをお迎えし、欧米の現代サーカスシーンの成り立ちから、現在の日本での取り組みについてご紹介いただきました。後半は『フィアース 5』の出演者である目黒陽介さんにもご登壇いただき、クリエイションの様子やご自身の活動についてお伺いしました。




## 12月

**2日（土）**演劇WSラボ・クラブ活動番外編『『ディスタンクシオン』クラブ」④ 専門家育成
**4日（月）**演劇WSラボ・クラブ活動「グリーフケアクラブ」⑦ 専門家育成
**6日（水）**『ともにゃの部屋～黒田真史さん』赤堤小学校4年生 ＊文化庁ユニバーサル公演事業 その他
**7日（木）**演劇WSラボ『演劇ワークショップの継続的な活動と可能性を思考する「実践記録」作成ゼミ』3/3回目 18：30～21：00（講師：渡辺貴裕）専門家育成
**8日（金）**『巡回団』芦花中学校2年生（～12月15日／全3回）（進行役：すずきこーた）地域連携
**9日（土）**演劇WSラボ・クラブ活動「感想クラブ」② 専門家育成
**10日（日）**『子どもごちゃまぜ演劇ワークショップ みんなもサンタ！編』地域連携
13：00～17：00（進行役：柏木陽）
**11日（月）**レクチャー『現代サーカス～時代を映す、表現の魅力と可能性～』区民参加 ★
19：30～21：00（登壇者：田中未知子、目黒陽介）
**13日（水）**『ともにゃの部屋～黒田真史さん』福岡市有住小学校6年生 その他
＊文化庁ユニバーサル公演事業
**15日（金）**演劇WSラボ「定例会」専門家育成
**16日（土）**『デイ・イン・ザ・シアター ～お片付け、したい・できない・でもやりたい編～』
1日限りの「演劇＆劇場」体験ワークショップ 区民参加
14：00～16：00／18：00～21：00　だれでもデイ（進行役：富永圭一）

年末開催ということで、テーマは「お片付け」。参加者それぞれが家にある「どうしても片付けられないもの」を出し合い、ほかの人が「なぜ片付けられないのか」を想像して劇にしました。思い出が詰まっているから、捨てたら呪われそうな気がするから、捨てようとするとごみ箱がどこかに行ってしまうから等、さまざまな理由の劇ができました。





## 1月

**22日（金）**『ともにゃの部屋～黒田真史さん』伊勢原市立成瀬中学校１～３年生 その他
＊文化庁ユニバーサル公演事業
**4日（木）**東京工業大学リベラルアーツ研究教育院主催
『ともにゃの部屋～黒田真史さん』その他

東京工業大学の在学生のみならず、近隣にお住まいの方々も参加され、たくさんのお客様にお越しいただきました。最近は子どもたちに観てもらう機会が多かったのですが、今回はほとんどが大人でした。それぞれご自身の経験と重ね合わせながら劇を味わっているように感じられました。



**7日（日）**『20代・30代のための演劇ワークショップ
～「子どもをもつこと／もたないこと」を考える～』1/5回目 区民参加
14：00~17：00（進行役：金谷奈緒）
20代・30代を対象に、「いま」考えていること・感じていることを表現するためのワークショップを開催した。今回のテーマは、「子どもをもつこと／もたないこと」。社会人としての振る舞いを求められ、人生設計も立てていかなければならない中、20代30代がそれぞれ抱えている想いを浮かびあがらせ、形にしていくことを目指す。

初回は、「子どもをもつこと、もたないこと」について、思っていること、考えていること、もやもやしていることを参加者それぞれが付箋に書き出しました。その後はグループになって付箋を共有し、その中から劇にしたいものを選んで、シーン作り。お金や仕事の不安、子どものいる上司のエピソード、脈々と受け継がれる「子どもは可愛い」という圧力の連鎖など、さまざまな状況や思いを表現するシーンが出来上がりました。



**8日（月）**『デイ・イン・ザ・シアター ～新年！ ぽかぽかえんげき温活編～』
1日限りの「演劇＆劇場」体験ワークショップ 区民参加
10：30～12：30 だれでもデイ／15：00～17：00 おとなデイ（進行役：田崎葵）
**11日（木）**『ともにゃの部屋～黒田真史さん』
久留米市田主丸中学校１～３年生 その他
＊文化庁ユニバーサル公演事業
**13日（土）**『巡回団』芦花小学校1年生 地域連携
（23年5月24日～1月16日／全10回）（進行役：すずきこーた）
**14日（日）**『公共の場をつくる～地域に場を開く3つの取り組み』
～SPTラボラトリーレクチャー 専門家育成 レポート
13：00 ～ 17：00（講師：荒井洋文、久保田翠、蔭山ヅル、スズキクリ）
昨今、地域社会の変容とともに、世田谷パブリックシアターのようないわゆる公設公営の施設ではなく、草の根的に、オルタナティブに、社会のニーズに応じる形で「公共の場」をつくる取り組みが広がっている。その事例として、「犀の角」、「たけし文化センター」、「横浜パラダイス会館」の３つの場を取り上げ、それぞれの場を運営しているゲストを招いて活動内容を紹介するレクチャーを開催した。

**16日（火）**『巡回団』砧南小学校2年生 地域連携
（～2月1日／全12回）（進行役：とみやまあゆみ）
**17日（水）**『巡回団』上北沢小学校1年生 地域連携
（～2月1日／全6回）（進行役：柏木陽）
**18日（木）**『巡回団』池尻小学校2年生 地域連携
（～1月30日／全4回）（進行役：すずきこーた）
**18日（木）**『巡回団』烏山小学校2年生 地域連携
（～2月2日／全9回）（進行役：大道朋奈）
**20日（土）**『子どもごちゃまぜ演劇ワークショップ
1月の みんな集合！2024年がはじまるよ！編』子ども
13：00～17：00（進行役：とみやまあゆみ）

心がぽかぽかしたエピソードを演劇にして、心も身体もあたたまろうと、たくさんのぽかぽかな演劇をつくりました。「みんなで話すことで自分のポカポカな瞬間を見つけることができた」との感想をいただき、冬の寒い1日をみんなで暖かく過ごすことができました。



**21日（日）**『20代・30代のための演劇ワークショップ～
「子どもをもつこと／もたないこと」を考える～』2/5回目 区民参加
14：00～17：00（進行役：金谷奈緒）
**21日（日）**演劇WSラボ・クラブ活動「グリーフケアクラブ」⑧ 専門家育成
**23日（火）**『巡回団』世田谷小学校1年生 地域連携
（～1月24日／全3回）（進行役：柏木陽）
**23日（火）**『ともにゃの部屋～黒田真史さん』高崎市箕輪小学校６年生 その他
＊文化庁ユニバーサル公演事業
**24日（水）**『巡回団』弦巻小学校2年生 地域連携
（～2月22日／全12回）（進行役：とみやまあゆみ）
**24日（水）**『巡回団』船橋小学校1年生 地域連携
（～2月21日／全12回）（進行役：青山公美嘉）
**26日（金）**『巡回団』九品仏小学校1年生（全2回）地域連携
（進行役：田崎葵）
**29日（月）**『巡回団』代沢小学校2年生 地域連携
（～2月2日／全6回）（進行役：すずきこーた）
**30日（火）**『ともにゃの部屋～黒田真史さん』高崎市箕輪小学校６年生 その他
＊文化庁ユニバーサル公演事業
**31日（水）**『巡回団』奥沢小学校2年生 地域連携
（～2月2日／全3回）（進行役：青山公美嘉）
**31日（水）**演劇WSラボ・クラブ活動番外編「ゆるっとビブリオバトル」専門家育成

新年最初の今回は、「2024年に起きたら嬉しいこと・やってみたいこと」を考えて演劇にしました。目玉焼きを作ってみたい、宇宙に行ってみたい、たくさんステーキが食べたい、ポケモンバトルをしてみたい等、自由な発想で2024年にやりたいことの劇が出来上がりました。振り返りでは、「やりたいことが出来て嬉しかった」「みんながにこにこ見てくれていたのが嬉しかった」との感想を伝えてくれました。



# 2024年2月～3月学芸事業一覧

子ども …… 子どものためのプログラム　区民参加 …… 世田谷区民、その他一般参加者のためのプログラム
地域連携 …… 区内施設、NPO他と協力して実施するプログラム　専門家育成 …… レクチャーや人材育成の取組　★ …… 公演と連携しているプログラム

**2月**

- 1日（木）『かなりゴキゲンなワークショップ巡回団』（以下、『巡回団』）上北沢小学校1年生（1月17日～2月1日／全6回）（進行役：柏木陽） 地域連携 レポート
- 1日（木）『巡回団』砧南小学校2年生（1月17日～2月1日／全12回）（進行役：とみやまあゆみ） 地域連携
- 1日（木）『巡回団』烏山小学校2年生（1月18日～2月2日／全9回）（進行役：大道朋奈） 地域連携
- 1日（木）『巡回団』代沢小学校2年生（1月22日～2月8日／全6回）（進行役：すずきこーた） 地域連携
- 2日（金）『巡回団』奥沢小学校2年生（1月31日～2月2日／全3回）（進行役：青山公美嘉） 地域連携
- 5日（月）『巡回団』用賀中学校2年生（～2月6日／全4回）（進行役：すずきこーた、とみやまあゆみ） 地域連携
- 6日（火）演劇WSラボ『ラボ生トークシリーズ 黒木歩編』18：30～21：00（話し手：黒木歩） 専門家育成
- 7日（水）『巡回団』烏山北小学校2年生（～2月21日／全8回）（進行役：富永圭一） 地域連携
- 8日（木）『巡回団』烏山小学校1年生（～2月27日／全9回）（進行役：田崎葵） 地域連携
- 8日（木）『巡回団』奥沢中学校2年生（全1回）（進行役：すずきこーた、大道朋奈） 地域連携
- 9日（金）『巡回団』船橋小学校1年生（1月24日～2月21日／全12日）（進行役：青山公美嘉） 地域連携

演劇WSラボ研究員（ラボ生）の黒木さんのお仕事「グラフィックレコーディング」の手法を、参加した研究員全員で体験しました。その場で話されることを、文字や絵、図を使って記録し可視化することによって、話が整理されるだけでなく、その場にいる人たちをつないでいく機能があることを知ることができました。



- 11日（日）『20代・30代のための演劇ワークショップ ～「子どもをもつこと/もたないこと」を考える～』3/5回目 区民参加 レポート
  14：00～17：00（進行役：金谷奈緒）
- 13日（火）地域の物語2024ワークショップ「ラップしようぜ！～コロナの日々をふりかえる」1/6回目 区民参加 レポート
  19：00～21：30（進行役：柏木陽、FUNI）
- 14日（水）『巡回団』弦巻小学校2年生（1月24日～2月22日／全12回）（進行役：とみやまあゆみ） 地域連携
- 16日（金）『世田谷パブリックシアター ダンス食堂 メニュー24 三東瑠璃』19：00～21：00ワークショップ（講師：三東瑠璃） 区民参加 ★
- 17日（土）『子どもごちゃまぜ演劇ワークショップ 2月の鬼ヶ島ランドへようこそ！編』13：00～17：00（進行役：大西由紀子） 子ども
- 18日（日）『20代・30代のための演劇ワークショップ ～「子どもをもつこと/もたないこと」を考える～』4/5回目 14：00～17：00（進行役：金谷奈緒） 区民参加
- 20日（火）地域の物語2024ワークショップ「ラップしようぜ！ ～コロナの日々をふりかえる」2/6回目 19：00～21：30（進行役：柏木陽、FUNI） 区民参加
- 20日（火）『巡回団』九品仏小学校2年生（全2回）（進行役：富永圭一） 地域連携
- 22日（木）『デイ・イン・ザ・シアター ～うるう年であそぶ！～』1日限りの「演劇＆劇場」体験ワークショップ①② 区民参加
  （進行役：すずきこーた、とみやまあゆみ）
- 23日（金）Technical Theatre Training Program 舞台技術講座 49th 安全セミナー 区民参加
  13：00～17：00　1部『舞台機構の制御とモーターの未来像』　2部『舞台機構・現在の課題と可能性』
- 25日（日）『20代・30代のための演劇ワークショップ ～「子どもをもつこと/もたないこと」を考える～』5/5回目 区民参加
  14：00～17：00（進行役：金谷奈緒）
- 26日（月）『巡回団』ほっとスクール城山（9月28日～全3回）（進行役：大道朋奈） 地域連携
- 26日（月）『巡回団』太子堂小学校2年生（～2月27日／全3回）（進行役：すずきこーた） 地域連携
- 26日（月）『世田谷パブリックシアター劇場ツアー』（ナビゲータ：白井晃） 区民参加
- 27日（火）地域の物語2024ワークショップ「ラップしようぜ！ ～コロナの日々をふりかえる」 区民参加
  19：00～21：30（進行役：柏木陽、FUNI）
- 27日（火）演劇WSラボ・クラブ活動「グリーフケアクラブ」⑨ 専門家育成
- 28日（水）演劇WSラボ・クラブ活動「学校が好きじゃない子のクラブ」⑥ 専門家育成

**3月**

- 28日（水）
- 2日（土）Ate9ダンスカンパニー『EXHIBIT B』『calling glenn』関連企画『パフォーマンスワークショップ』（講師：ダニエル・アガミ） 専門家育成 ★
  2月28日（水）【ワークショップA｜ダンサー・パフォーマー向けワークショップ】19：00～21：00
  3月2日（土）【ワークショップB｜一般向けワークショップ】18：00～20：00

当日は芸術監督の白井晃と劇場スタッフがシアタートラムの特徴や舞台の仕組みなどを説明した後、楽屋と稽古場を案内しました。劇場の裏側を実際に見て回って、参加した皆様からは驚きや感心する声があがりました。また、今回は「芸術監督と話そう！」というテーマで白井芸術監督との質疑応答の時間を長く設け、過去の作品や世田谷パブリックシアターについての質問や感想など、たっぷりとお話ししていただきました。



- 8日（金）『デイ・イン・ザ・シアター ～2024年宇宙の旅編～』1日限りの「演劇＆劇場」体験ワークショップ①② 15：30～17：30／19：00～21：00 だれでもデイ（進行役：青山公美嘉） 区民参加
- 10日（日）地域の物語2024ワークショップ「ラップしようぜ！～コロナの日々をふりかえる」4/6回目 19：00～21：30（進行役：柏木陽、FUNI） 区民参加
- 15日（金）地域の物語2024ワークショップ「ラップしようぜ！～コロナの日々をふりかえる」5/6回目 19：00～21：30（進行役：柏木陽、FUNI） 区民参加
- 16日（土）地域の物語2024『劇場と地域コミュニティの冒険～みんなイロイロ生きてるぜ！』演劇上演会 区民参加
- 17日（日）




小学1年生から22歳の方が参加した3月のWS。あいにくの雨でしたが、春を感じる「50音」を探しに三軒茶屋の街にお出かけしました！ まだ寒いし、春なんてあるのかな？ と思いきや、ありました！「や」さい、「か」ふん、「な」のはな。たくさんの虫や動物たち。見つけた春が登場する、春爛漫の劇が出来上がりました。

上演作品
『ともにゃの部屋～黒田真史さん』『ともにゃの部屋～中川陽子さん』
『うけいれる身体 うけいれられない身体』
『支えることについての小さな劇3 ～長見さんの話』
『ラップしようぜ！ ～コロナの日々をふりかえる』

- 18日（月）『世田谷パブリックシアター劇場ツアー』シアタートラム編 ～芸術監督と話そう！～ 区民参加
  19：00～20：30　世田谷パブリックシアターでは、劇場をより身近な存在として感じていただけるように、劇場ツアーを開催している。芸術監督や劇場スタッフがナビゲートし、演出家としてまたは劇場を知り尽くしたスタッフならではの目線で、普段は見ることのできない場所や劇場の仕組みを紹介する。
- 26日（火）『子どもごちゃまぜ演劇ワークショップ 3月のあいうえおさんぽ♪編』13：00～17：00（進行役：金谷奈緒） 子ども
- 26日（火）『世田谷パブリックシアター ダンス食堂 メニュー24 三東瑠璃』19：00～20：30トーク（講師：三東瑠璃） 区民参加 ★
- 26日（火）演劇WSラボ・クラブ活動「グリーフケアクラブ」⑩「学校が好きじゃない子のクラブ」⑦ 専門家育成
- 27日（水）「世田谷パブリックシアター 中学生演劇部」（3学期）「みんなで演じる、いろんな自分」13：00～16：00（進行役：中島梓織） 子ども レポート



## 4～6月 レポート 『子どもごちゃまぜ演劇ワークショップ』

日時：2023年4月23日（日）、5月27日（土）、6月18日（日）　場所：世田谷パブリックシアター稽古場

『子どもごちゃまぜ演劇ワークショップ』（以下、『ごちゃまぜWS』）は、小学生から22歳までの「ごちゃまぜ」な年齢の子どもたちが集まって演劇をつくる場です。2013年よりスタートし、年間2回程度、実施してきましたが、2022年11月より月1回の定期開催とし、今年度は、年間12回に回数を増やしました。

その一つのきっかけとなったのは、新型コロナウイルスの流行にあります。世田谷パブリックシアターでは、劇場の「入り口」として短時間の演劇WS『デイ・イン・ザ・シアター』（以下、『デイ』）を月に1回程度開催しています。『デイ』はどの年齢の方でも参加できますが、コロナ流行前の参加者は大人が多く、子どもはほとんどいませんでした。しかしコロナ渦になると、子どもの参加が大幅に増えました。

私たちは、コロナ禍で子どもたちが自由に参加できる文化的な場が大きく制限されたことにその理由があるのではと考えました。また同時に、参加した子どもたちからは、人と関わる経験の場を圧倒的に失っていることへの影響を、また保護者からは、そのことへの怖れと強いフラストレーションを感じました。そうした需要の高まりと課題意識から、定期的な開催へと変更することにしました。

『ごちゃまぜWS』の時間は4時間に設定しています。子ども、特に小学生にとっては少し長い時間ですが、共に演劇をつくっていくための過程を丁寧に踏むことができます。はじめてその場で出会った参加者同士が演劇を一緒につくっていくためには、相手に自分のことを伝え、自分もまた相手のことを知り、異なる意見や表現も受け止めあうことが大切です。そのために、シアターゲームなど共通の体験をして、共に楽しい時間を過ごしたり、じっくりひとつのことについて話し合ったりする時間をつくっています。特にコロナ渦で出会った子どもたちから対話の困難さを感じ、そのような時間を充分にとるようにしています。

アフターコロナとなり、行事やイベントも復活し、レジャーや旅行も活況のようですが、『ごちゃまぜWS』には今も数多くの応募があります。コロナが子どもたちの育ちに与えた影響は、今はまだ分かりません。ただ、演劇をつくるということを通して子ども同士が交流する場を、これからも開き続けていきたいと考えています。







## 4月 レポート 演劇WSラボ「キックオフミーティング」

日時：2023年4月22日（土）13：00～16：00　場所：世田谷パブリックシアター稽古場　演劇WSラボ研究員：61人

2023年度の「演劇WSラボ」（以下、「WSラボ」）がスタートしました。「WSラボ」は、2018年度より開始した演劇WSの専門家育成事業で、公募で集まった研究員が互いに学び合い、WSの研究をしています。今年度の研究員は61名。演劇WSを学校、福祉施設など、地域のさまざまな現場で活用しながら活動している人たちで構成されています。

4月22日のキックオフミーティングには、24名が集まりました。はじめに、互いにどんなテーマに関心を持っているか、どんなフィールドで活動しているかなど、シアターゲームをやりながら共有しました。そのあと昨年度のクラブ活動の報告会、最後にグループに分かれて、今年度のラボに期待すること、どんなことを学び合い、活動していきたいかについての意見交換を行いました。

「WSラボ」は、昨年度に引き続き、研究員によるクラブ活動の実施、劇場が主催するWSへのアシスタントとしての機会提供、レクチャーやゼミなど、さまざまなプログラムを展開していきます。その中のクラブ活動は、6月から開始しました。今年度前期は、以下の4つです。

**❶ いまさらフェミニズムクラブ**
フェミニズムの歴史や課題とされてきたことを学び、対話し、自分の考えをより深めていくことを目的に、月1、2回程度オンラインで読書会を開きます。

**❷ グリーフケアクラブ**
昨年度から継続。昨年は「隣にいる人も強いグリーフを抱えているかも知れない、そんな時に私達に何ができるだろうか？」をテーマに月に一度集まり話し合ってきました。今年度は、さらにグリーフ緩和に有効なシアターゲームの考案を目指します。

**❸ 感想クラブ**
昨年度からの継続クラブ。月に1度集まって、舞台の配信映像や映画を鑑賞し、ざっくばらんに感想を語り合うことを目的としたサロンのようなクラブです。

**❹ 学校が好きじゃない子のクラブ**
学校などでWSをする際に、他の子と交流が少ない子、クラスに馴染まない子など、気になる子どもたちに焦点を当て、月1回程度集まって話し合いながら、フィールドワークや、新しい学校教育についての調査をします。

今年度はクラブ番外編として、回数限定で行う「100分de名著『ディスタンクシオン』を見てやってみるクラブ」と、不定期で開催する「ゆるっとビブリオバトル」も発足しました。
この「WSラボ」で得られたものを、研究員がそれぞれの現場に持ち帰り、活かされていくことが期待されます。





7月レポート

# 下馬地区アートプロジェクト『極楽フェス’23』

実施日：2023年7月8日（土）10時30分〜16時
会場：世田谷ボランティアセンター、おともだち保育園、下馬アパート第3集会所、下馬アパート第1集会所、世田谷福祉作業所
主催：下馬2丁目北町会、社会福祉法人日本フレンズ奉仕団（フレンズホーム、フレンズケアセンター、おともだち保育園、下馬あんしんすこやかセンター）、
社会福祉法人世田谷ボランティア協会（世田谷ボランティアセンター、ケアセンターふらっと、地域障害者相談支援センターぽーとせたがや、パートナーセンター）、
社会福祉法人せたがや樫の木会（世田谷区立下馬福祉工房）、社会福祉法人武蔵野会（世田谷区立世田谷福祉作業所）、社会福祉法人奉優会（優っくり村下馬、優っくり村池尻）、
世田谷消防団第14分団、地域のことを話す会、三宿病院「訪問看護ステーション」、公益財団法人せたがや文化財団
共催：野沢児童館

**下馬地区アートプロジェクト「極楽フェス」は、主に下馬地区で活動している団体・組織が運営に携わり、それぞれの特性を活かしながら下馬地区の横のつながりをつくり、死に向かう生をいかに生きていくかを考えることを目指しています。参加型演劇、読み聞かせ、お店、相談コーナーなどバラエティ豊かなプログラムを実施しました。3年目となる今年は、会場も５カ所に増え、子どもから高齢者までたくさんの人で賑わい、地域全体のつながりや、支え合える社会について互いに考える機会となりました。ここでは、世田谷パブリックシアターの取組みをご紹介します！**

## 会場全体

### 『なんちゃってちんどん・極楽や』

進行：青木拓磨、柏木陽、笠村勇樹

「極楽フェス」のテーマソング「極楽ソング」などを鳴らしながら、会場間を練り歩きました。会場まで足を運ぶことが難しい利用者さんのいる施設も訪ね、演奏と歌をお届け。利用者さんたちは一緒に口ずさんだり、手を振ってくれたりと喜んでくださり、「極楽や」一同、逆に元気をいただきました！



## おともだち保育園

### 『ともにゃの部屋〜中川陽子さん』

司会：大道朋奈
出演：大道朋奈、有吉宣人、大塚由祈子、高野栞、中川陽子
協力：ケアセンターふらっと

「ともにゃの部屋」は、障害当事者と福祉施設職員の「障害者のことを地域の人に知ってほしい」という思いを受け、ともにゃ（大道朋奈）をはじめとする俳優たちが障害のある方へのインタビューから演劇をつくるシリーズ。今回は、デザイナーとして仕事に恋にまい進していた 30 代で脳溢血を起こし高次脳機能障害となった中川陽子さんが、通所介護施設に通いながら、人生を取り戻していった姿が軽やかに描かれました。観客からは「自分と重なる部分があり考えさせられた」「これから中川さんが作られる作品が楽しみ」などの声が寄せられ、中川さんご本人と観客との交流も生まれていました。



### 『ひらけ絵本！』

読み手：有吉宣人、大道朋奈

俳優によるアクティブな絵本の読み聞かせ。絵本を読むだけでなく、内容に合わせて身体を動かす遊びを取り入れ、参加の親子が交流するプログラムも盛り込みました。観客の子どもたちからは、「ただ聞くだけじゃなかったから楽しかった！」「また見たい」という声があがっていました。

## 下馬アパート第一集会所

### 『下馬兵舎時代の思い出の絵地図』

進行：阿部健一　協力：下馬アパートの昔をご存じの皆様、uni

2021 年の「極楽フェス」からはじまった企画。旧陸軍の兵舎が立ち並んでいた「下馬の兵舎時代（昭和20〜30年代）」を知る方々に当時のお話を伺い、１枚の地図にまとめて展示しました。当日いらした方々からもたくさんの思い出話を伺い、当時を知らない方からは「いきいきとした当時の生活の様子が知れてよかった」など反響の声をいただきました。この絵地図づくりはこれからもじっくりコトコト続けていきたいと思います。

### 『葬送とお墓をめぐるアレコレ』

進行：花崎攝　デザイン：川勝有子

「あなたのお墓はどこですか？」「どんなお墓、葬送を希望しますか？」といった質問を、会場を訪れた人たちに投げかけ、その答えをボードに貼って残してもらいました。「これからどのように老いていきたいか、見送られたいか」を考えるきっかけづくりとして実施したものです。老いや死など、普段は避けがちな話題ですが、たくさんの人たちが足をとめて気軽に話してくれました。



### 『写真クラブ・極楽』

進行：金川晋吾　写真：「写真クラブ・極楽」参加者

65 歳以上の下馬地区にお住まいの皆さんと定期的に開催している「写真クラブ・極楽」。参加者の方々が日常で撮影した写真に、その撮影者本人による撮影日の短い日記を添えて展示しました。写真と言葉の間に生じる余白が、見る人に様々なことを喚起させる内容となりました。



### 『「支えること」についての小さな劇』

出演：戈文来、松田文、山本雅幸

下馬地区に住んでいる人の「生活を支えること」を仕事としている方へのインタビューからつくった演劇作品。今回は、2023 年 3 月まで「下馬福祉工房」で働いていた長見亮太さんにインタビューしました。長見さんは、知的障害のある利用者さんと、いつも元気に、楽しく、ユーモアを持って日々お仕事をされていました。そんな長見さんの思いを演劇にし、利用者さんを含めた下馬地区の人たちに楽しんでもらうことができました。





年間レポート

# 「かなりゴキゲンなワークショップ巡回団」

## 〜ほっとスクール「城山」と笹原小学校「目の教室」〜




**2003年度からはじまった世田谷区内の小中学校向け演劇ワークショップ事業「かなりゴキゲンなワークショップ巡回団」は、通常学級だけではなく、特別支援学級や教育支援センターなども訪問しています。
今回は、継続的にうかがっている、ほっとスクール「城山」と笹原小学校「目の教室」をご紹介いたします。**

### ほっとスクール「城山」

日程：全3回
2023年9月28日（木）、11月27日（月）、2024年2月26日（月）
進行役：大道朋奈

ほっとスクール「城山」は、心理的理由などにより不登校の状態にある区内在住の小中学生が通っています。幅広い年代の子どもたちが各自の状況に合わせて通っているため、顔をあわせる機会が少なく、交流が難しい環境にあります。2008年度より、劇場にご依頼があり、「集団活動の日」に、学年を超えて知り合い、自分のことを話すきっかけを作りながら、協力して演劇をつくる活動を行っています。本年度は、9月、11月、2月と3回伺います。9月は、「だるまさんがころんだ」などの馴染みあるゲームから身体表現を楽しんだり、お互いの共通点を探すゲームで仲間と知り合う時間をつくりました。11月、2月はさらに身体を動かしていく活動を予定していて、表現活動を通じて、仲間と関わり合うやり方を先生と一緒にさぐっていきます。

### 笹原小学校「目の教室」

日程：全3回　2023年5月10日（水）、6月7日（水）、7月5日（水）　進行役：富永圭一

区立笹原小学校に設置されている弱視通級指導教室「目の教室」では、視力が弱いために学習や生活に困難のある区内外の小学生を支援しています。その取り組みや在籍児のことをよく知ってもらう目的で、笹原小学校の学芸会にて映像作品を上映されており、劇場では2010 年よりご依頼を受け、継続的に作品づくりのお手伝いにうかがっています。

今年度は５〜７月に訪問、撮影し、そこから 11 月の学芸会に向けて先生とやり取りを重ねて作り上げていきました。「目の教室」は個別指導が中心となるため、全員が集まるのは 1、2 か月に 1 回程度の集団活動の日のみです。そのため、初回は仲良くなる活動からはじめました。次に表現活動と並行して、子どもたち一人ひとりと「どんな役を演じたいか」「その役の得意なことは？ 性格は？」などを進行役の富永さんと話し合う時間を設け、そこで出されたことを踏まえ、作品全体の方向性を先生と劇場側とで話し合い、先生が脚本にまとめました。次にいよいよ撮影です。各々、衣裳を身に着け、ワンカットワンカット気持ちを込めて演じていきました。「そばにいる人との絆を深めて、ひととのつながりを大切にしよう」「友達との友情がこの世界の１番大事なもの」など、「目の教室」の子どもたちからの熱いメッセージが詰まった作品が出来上がりました。

10月レポート

# 世田谷区中学校演劇発表会 技術支援

技術支援日程：2023年6月〜11月　区大会日時：2023年10月28日（土）、29日（日）　参加校：8校
舞台担当：杉山陽洋、小松豊和、石川陽香、住谷ちひろ
照明担当：西倉淳、山崎哲也、石井宏之、大竹真由美、永井笑莉子　音響担当：相楽恭平、原嶋紘平
制作担当：塩原由香理　当日制作：恵志美奈子、九谷倫恵子

世田谷パブリックシアターでは、世田谷区立中学校教育研究会演劇教育研究部（世中研）、教育委員会と連携し、秋に成城ホールで行われる世田谷区中学校演劇発表会（以下、区大会）への技術支援を行っています。劇場の技術スタッフ（舞台・照明・音響）と制作者の10名強が携わり、「中学生たちが自分たち自身で作品をつくりあげ、自分たちの力で上演までやりとげること」を大切にしつつ、舞台・照明・音響のプランニングやリハーサル・本番のサポート、また世中研の先生方が担う大会運営の支援を行っています。

本年度の区大会は、春先から運営について先生方と細かな調整を進めてきました。区大会の3週間ほど前には、各校から技術資料（きっかけが書かれた台本、舞台平面図、転換表、舞台監督計画表、照明計画表、音響計画表など）を提出してもらいます。これは中学生や先生方にとってとても大変な作業ですが、自分たちがどのような舞台をつくりたいかを考える大切な機会となります。この資料をもとに中学生と技術スタッフとで打ち合わせを行い、技術スタッフがプランを再構築した上で、各校上演前日に行うリハーサルにて、安全面が保たれているか、イメージ通りの照明になっているか、音響の音はどのくらいが良いかなどを中学生たちと確認していきました。そして迎えた本番。先生や教育委員会の方たちと協力し、会場運営や上演の進行、各校のサポートを行いました。3日間で全8校のリハーサル・本番を行うというタイトなスケジュールのため、各セクションがフル稼働で動いていきました。

区大会は、新型コロナウイルスのために2020年は中止、21年は無観客開催でした。22年は、午前・午後と区切って２〜3校同士で見合い、自校の保護者のみ鑑賞できるという形になりました。そして今回、ようやく全参加校が鑑賞するコロナ前の通常開催に戻り、会場は大変な活気に包まれました。人と人とが集う喜び、自分たちが頑張ってつくりあげてきたものを誰かに見てもらう喜び、そして、誰かのつくったものを受け取ることができる喜びにあふれ、互いの作品を称え合う中学生たちの姿が印象的でした。










11~12月 レポート

## 演劇WSラボ『演劇ワークショップの継続的な活動と可能性を思考する「実践記録」作成ゼミ』

日程：2023年11月9日（木）、30日（木）、12月7日（木）18：30～21：00　講師：渡辺貴裕（東京学芸大学教職大学院准教授）　受講者：8名

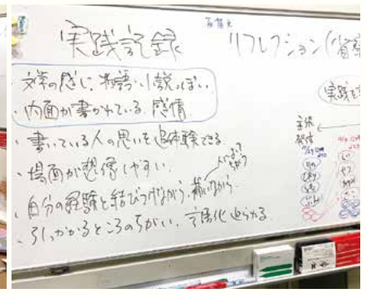
「演劇WSラボ」の研究員を対象に、演劇WSの実践記録のあり方について考え、実際に書いて検証するゼミを開催しました。「演劇WSラボ」とは当劇場が行っている演劇WSの専門家育成事業です。公募であつまった演劇WSの実践家や研究者、学生らからなる研究員たちが互いに学びあい、演劇WSについての研究を行っています。

演劇WSの実践者は、しばしば、自分たちのWSの内容や目的、その効果や意義について、演劇WSのことをよく知らない人やその現場を目にしていない人に言葉にして説明することが求められます。それは継続的な活動を行っていく上で、助成金申請等の資金面においても、様々な人や団体との協力連携という面においても、きわめて重要な技能です。

今回のゼミでは、受講者が自らの実践記録の作成を通じて、「自身の活動を振り返る」「他者に伝わる言葉を獲得する」「実践に意味づけする」ことを目指しました。最初に講師の渡辺貴裕さんから、実践記録が持つ役割・効果・意味についてお話をいただき、その後、受講者一人ひとりが実践記録を書いて、互いに読みあいました。書くことで得られた発見や考えを共有しつつ、読んだ感想も伝え合いました。その際、講師からは、ほかの受講者の実践記録を評価したりアドバイスしたりするのではなく、自分がそれをどう受け止めたかを率直に話すよう伝えられました。そうすることで、書き手は自分の記録が読み手にどのように受け取られたかを知ることができ、次はどのようにすれば伝わるかを学ぶことができるからです。

受講した研究員からは、「どう書けば良いかわからなかったけれど、なんとか書けたことで勇気がでた」「読み手が受け取るものが、自分が伝えたいことと異なることがあり驚いた。違いを知ることができて良かった」という声があがりました。講師からは「書き続けることが大事。書くことで思考が前に進んでいって、自分の伝えたいこと、伝えなくてはいけないことに気づけるようになる」という声がけがあり、研究員にとって今後の活動の糧となる時間を過ごすことができました。






1~2月 レポート

## 『20代・30代のための演劇ワークショップ ～「子どもをもつこと／もたないこと」を考える～』

日程：1月7日（日）、21日（日）、2月11日（日）、28日（日）、25日（日）　講師：金谷奈緒　参加者：18名

『20代・30代のための演劇ワークショップ』は、20代、30代の人々が集まって、自分たちが「いま」考えていること・感じていることを表現する演劇ワークショップです。第1回目のテーマは「子どもをもつこと／もたないこと」。対象は、現在子どもをもたない方々にしました。仕事や経済状況、家庭内でのパートナーとの分担、そもそものパートナーの在り方、不安定な社会の中で育てていく責任、未知である出産・育児…。「子ども」にまつわるあらゆる選択や不安について、まずはWSの場でお互いの考えを話すことから始めました。

WSを重ねていくと、参加者から「この話題について周りの人と話すことが出来なかったので、話せてよかった」という感想が多くでてきました。と同時に、「言葉にすること自体が難しい」、「どう考えたらよいかわからないことが多い」といった話もありました。家族の在り方が多様になっている今、「子どもをもつこと」への考え方が、自分の親しい人と異なっているかもしれないことへの怖れ、その時にどうその人と関われるのかという不安感が、「子どもをもつこと」を話題にすること自体を困難にしているように感じました。だからこそ、このWSは同年代の同じ条件のもとで「話すこと」を目的に人々が集まったことで、自分の思いを表現できる貴重な場となっていたように思います。

WS中盤には『「子どもをもつこと／もたないこと」について自分のエッセイ本を書く』と仮定し、目次を考え、その目次から1つ選んで、本文を書きました。各人のエッセイを元に、関心の近い人同士でグループを組み、劇を立ち上げて最終日に発表しました。自分自身の思い、家族との関係、子どもが生まれたあとの社会的立ち位置、子どもをもつことによって変わる友人との関係など、それぞれが現時点で感じている「子ども」に関わる思いが色濃く反映された劇となりました。

「子ども」に関する考え方には、正解はありません。そのことを参加者同士で共有し、同じ不安を持ちながらも、それぞれに違う考えを持っていることを尊重しあって、劇作りは行われていきました。社会的役割も担いながら、個人の人生設計を強く意識する20代・30代の参加者が、演劇を通して他者や自分を受け入れていくことを目指して、これからもWSを続けていきたいと思います。









1月 レポート

## 『公共の場をつくる～地域に場を開く3つの取り組み』 ～SPTラボラトリーレクチャー

日時：2024年1月14日（日）13：00～17：00　講師：荒井洋文（「犀の角」／一般社団法人シアター＆アーツうえだ 代表理事）、久保田翠（「たけし文化センター」／認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ理事長）、蔭山ヅル・スズキクリ（「横浜パラダイス会館」／ArtLabOva）　受講者：31名

公設公営の施設ではない3つの「公共の場」の事例を参照に、受講者とともに「公共の場」について考えるレクチャーを開催しました。前半は、3つの場の実践を4人のスピーカーの方々に紹介してもらいました。1つ目の長野県上田市で劇場、ゲストハウスを運営している「犀の角」の荒井洋文さんは、上田という土地が築いてきた文化、歴史を背中に感じながら、市民の今の声に身を傾けて事業を実践されてきました。コロナ禍で場を閉ざさざるを得ない状況になりながらも、コロナ禍ゆえに困難を抱えている人たちの切実なニーズに応え、近隣のさまざまなコミュニティとつながりを築いていったそうです。荒井さんは経営的な難しさに直面し、悩みながらも、いわゆる劇場という枠を超え、場を拡張し続けていこうと、その地域に最も適切な場のあり様を模索しているように見えました。2つ目の事例は、静岡県浜松市の「たけし文化センター」です。設立者の久保田翠さんのお話しからは、自分の子ども「たけし」のためにスタートした「私的」な活動が、「福祉」になり、さらにアートが加わって、浜松という街中での「公的」な活動へと変容していった動きと、それを推し進められた久保田さんの強いモチベーションがひしひしと感じられました。混沌としたエネルギーが溢れる「たけし文化センター」に実際行ってみたいという声が客席から多く聞かれました。3つ目の「横浜パラダイス会館」を運営するArt Lab Ovaの蔭山ヅルさん、スズキクリさんは、アーティストという立場から、外国人やマイノリティと言われる人など、さまざまな背景を持った人や事象が交差する場をつくってきました。無理せず場を拡く秘訣や観光するだけでは見えない横浜の歴史などユーモラスなお話しに、会場からは笑いが何度も起きていました。





後半は4人によるクロストークを展開。会場からも質問がたくさん寄せられました。開かれた場を継続するために必要なものは何か、それぞれの場では一体何が生み出されているのか、今後どういった場が求められていくのか等、正解のない問いに対し、4人それぞれの経験から語られるエピソード、言葉は説得力があり、力強いものでした。公共の劇場で働く者の一人として、世田谷パブリックシアターがどのような場であるべきか、じっくり深く考えさせられる機会ともなり

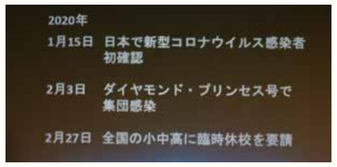
2~3月 レポート

## 『地域の物語2024』ワークショップ 「ラップしようぜ！～コロナの日々をふりかえる」




日時：2024年2月13日（火）、20日（火）、27日（火）、3月10日（日）、15日（金）、16日（土）　講師：柏木陽、FUNI　参加者：14名










一般公募で集った10代から70代の皆さんと5日間のワークショップを通じてコロナの日々を振り返り、そこから出てきた言葉をつむいで作ったラップを、『地域の物語2024』で発表しました。

14名の参加者の皆さんは初対面の方が多く、初日は緊張している様子でしたが、ラッパーFUNIさんとともに「聞いた話は持ちださない」というこの場のルールをコール＆レスポンスして、自分の思いを吐き出せる安心な場作りを心がけました。2日目以降は、自身の創作だけでなく、相手の創作に対して返歌する「レスポンス」をすることで、参加者同士の心の距離を縮め、互いにやりとりをしながら自身の作品を深めていきました。最後に、参加者の言葉に寄り添うトラック（曲）をFUNIさんが一人一人に提案し、そのトラックに合わせて練習すると、より一層14名の個性が引き出されていきました。

発表会当日は、進行役の柏木さんのかけ声にはじまり、観客も自分自身を表すMCネームをつくって名乗り、会場全体を巻込む舞台となりました。FUNIさんによる「コロナ年表ラップ」からはじまり、それぞれのコロナ渦への思いをラップで叫び、時にレスポンスを通して仲間を激励しました。レスポンスでのやりとりは、コロナに対する恐怖や悔しさが今なお自分の中にあることを思い起こさせ、誰かが誰かを思い綴る言葉に癒しの力があることを感じる時間となりました。

「地域の物語」は、世田谷パブリックシアターが開場当時から毎年実施してきた事業で、市井の人と台本のないところから物語を創り上げるプロジェクトです。今年は、例年と趣向を変え、町会や福祉施設とともに、地域コミュニティで地域の当事者の話を聞いて創り上げてきた作品を劇場で紹介しました。

今回の「地域の物語2024」は、劇場という空間に、人々が集い、心をほどく広場ともなり得ることを、ラップ発表会や他の演目を通して実感できるものとなりました。これから、この「劇場＝広場」で人々が何を持ち寄り魅せていくのか、地域の皆様との対話で探していきたいと思っています。

年間レポート

# 「かなりゴキゲンなワークショップ巡回団」2023年度総括

日時：2023年4月～3月　場所：世田谷区立小中学校　実施数：200回　参加人数：約6175名

世田谷パブリックシアターでは、2003年度より区内小中学校の訪問事業「かなりゴキゲンなワークショップ巡回団」を立ち上げ、20年以上にわたって学校で演劇ワークショップを実施してきました。コロナ禍にあった2020年以降、実施数が減少しておりましたが、行動規制が緩和された今年度は活況を取り戻し、たくさんの児童・生徒の皆さんと出会うことができました。

学校からご依頼で一番多いのは、教科「日本語」の「表現」の単元の授業です。世田谷区は内閣府より「世田谷『日本語』教育特区」認定を受け、全区立小中学校で「日本語」の授業を展開しています。その中の「表現」の単元が、当劇場の実践をもとにしている（小学1・2・5・6年、中学2年生）ことから、今年度も多くのご依頼をいただきました。

今年度の特徴的な動きとしては、クラスづくりを目的とした新小学1年生対象の演劇ワークショップの創設、「日本語」以外での教科における演劇を活用した授業のご依頼の増加があります。

新小学1年生対象の演劇ワークショップは、今年度より劇場が世田谷区教育委員会に提案して始まったプログラムです。学校生活の最初期、まだ名前もおぼつかないクラスメイトと楽しく交流したり、協力して表現活動を行ったりすることで、スムーズな集団生活がはじめられることを目指しています。先生方からの評判もよく、「ふだん登校しぶりがあり、教室に入ることが難しい児童が参加することができた」「いろいろな友達と関わるようになった」といった子どもたちへの効果とともに、「大変参考になり、今後の学級づくりに活かしていきたい」「子どもたちへの声かけの仕方や褒め方など、とても勉強になった」といった声が寄せられ、先生たちへの支援ともなったことがうかがえました。





また、「日本語」以外の教科は「国語」と「生活」でご依頼がありました。教科「国語」では『スーホの白い馬』を読み、クラス全員で演劇に立ち上げていく活動を行いました。子どもたちは書かれていないことや登場人物の心情を想像しながら取り組んでいました。教科「生活」では「広がれ わたし」という単元で、「1年間でできるようになったこと」の演劇をつくり、自分たちの成長や努力、支えてくれた人について考えました。いずれも、演劇づくりを通じて単元の理解を深める内容となったと同時に、クラスメイトをよく知り、自分をよく知り、考え方の異なる人との協働のあり方を学ぶ機会ともなっていました。

3月レポート

# 『世田谷パブリックシアター 中学生演劇部（3学期）』「みんなで演じる、いろんな自分」

日時：2024年3月27日（水）13：00～16：00　場所：世田谷パブリックシアター稽古場　進行役：中島梓織　参加者：15名

「世田谷パブリックシアター　中学生演劇部」は、中学生を対象に、通年で実施しているワークショップです。演劇部のない学校の中学生たちに、演劇活動の機会を提供しています。今年度最後となる3月のワークショップでは、「みんなで演じる、いろんな自分」をテーマに実施しました。

参加者同士で知り合うためのゲームをしたあと、劇作りは、進行役の中島さんの戯曲『つまり』の1シーンを読むことから始めました。抜粋されたシーンは、主人公が好意を持っている職場の先輩に食事に誘われるが、うまく誘いに乗ることが出来ず、葛藤するという内容です。その主人公の葛藤は、主人公の頭の中の感情（怒り、哀しみ、喜びなど）を俳優が一人一人演じる、という形で表現されています。今回は、この戯曲の形式を応用して、劇作りを行いました。






まずは、抜粋したシーンの戯曲をグループごとに読んだあと、日常の中でモヤモヤしていることを書き出し、共有しました。その中で、グループで1つのエピソードを選び、モヤモヤした状況を表したシーンと、そのモヤモヤしたことが起こった時の主人公の頭の中にどのような感情があるかのシーンを立ち上げました。みかんの皮がうまく剥けない、自分の行動を管理しようとする親に対抗できない、クラスメイトが自分にだけ名前を呼んでくれない…など、中学生の日常の困難が垣間見える劇が出来ました。エピソードを話した中学生からは、「一人で抱えているとどう考えたらいいか分からないことでも、（同じ中学生である）みんなに話を聞いてもらい、共感してもらうことで、自分がどう思っているのか改めて再認識することができた」という感想があがりました。

普段は関わる機会のない違う学校の中学生同士が、劇場に集い、話し合いながら劇を作っていくことで、自分の内に抱えている葛藤を捉えなおす機会となりました。